



令和元年5月7日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役会長兼CEO 田中 正
(コード番号: 3372 東証第二部)
問合せ先 経営支援本部部長 岩本 匡史
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年5月15日に開示した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の連結業績予想を、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,800	250	185	100	8円51銭
今回修正予想(B)	4,557	141	82	3	32銭
増減額(B-A)	△243	△109	△103	△96	—
増減率(%)	△5.1%	△43.6%	△55.7%	△96.2%	—
(参考)前期連結実績 (平成30年3月期)	4,725	197	125	34	—

2. 修正の理由

当期の連結売上高は4,557百万円を見込んでおります。当初は期間限定商品である「はも」の全店販売開始等により好調に推移しておりましたが、その後、夏季の猛暑や各地で発生した災害による一部店舗の一時休業やインバウンドのお客様の減少、また、繁忙期である冬季における暖冬の影響等により、お客様のご来店が想定を下回りました。2月以降は積極的な販売促進活動や団体向けメニューの再販が好評で売上高は回復し想定を上回ったものの、通期では業績予想を243百万円(△5.1%)下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、メニュー見直しや人件費抑制等によるコスト削減に努めましたが、売上高未達による影響をカバーすることができず、加え、将来の事業成長を見据えた当社グループの最重要施策である「リ・ブランディング」に係る先行コストの発生等もあり、連結営業利益は141百万円と業績予想を109百万円(△43.6%)、連結経常利益は82百万円と業績予想を103百万円(△55.7%)それぞれ下回る見込みとなりました。さらに、賃貸借期間満了による閉鎖予定店舗等の減損損失を特別損失に計上、繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は3百万円と業績予想を96百万円(△96.2%)下回る見込みとなりました。

以上